

防災かわら版

さつき自治会

編集：防災を考える会

自然災害に対して備えをすすめるためのヒントの提供を自指した、さつき防災回覧も5年目になりました。今年は歳時記をベースに、時々の特ピックスをお伝えする「かわら版」としてお送りします。

四月（うづき）「新年度 防災組織は 新旧で」

【解説】 新年度が始まり、自治会の役員、各班の世話役が交代しました。災害時には、初期消火や負傷者救援、支援物資の配布、避難所入所など様々な活動が自治会中心に行われます。このため、さつき防災計画では、前年度の世話人、役員さんにも協力して頂き、人員を確保する計画となっています。

【災害時】 家具が倒れたり、建物が破損するような震災発生時には、まず安全を確保した上で、各班毎に自宅前の路上で安否確認、支援要請などを世話人さんに報告しましょう。



世話人さんは、この情報をさつき自治会防災本部に集約し、公的な支援につなげていきます。

「自分のところは大丈夫」という場合は、路上に集まらずに、白タオルを玄関に掲出しておいても構いません。

【今月の災害】 2016年に熊本地震（M7.3）が発生。観測史上初めて、震度7を2回観測。熊本城の石垣の損壊、病院、市役所など公共建物や国道の橋の崩落など大きな被害が発生しました。右はNHK熊本放送局の熊本地震関連の映像です。



防災部長の一言：

自助

まずは自分と家族の安全確認を！